

事務事業実績測定調書

R4調書番号 772

事務事業名称	建設工事検査事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	工事検査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第234条の2				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市が発注する工事の受注者。			
	サブターゲット	本市が発注する工事の監督職員。			
	ターゲットが抱える課題	地方自治法等による契約の履行が確保される必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	的確な監督業務により、検査職員が実施する検査において契約の適正な履行が確保され、同検査を経ることで監督職員の技術向上が図られる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市(市長部局、上下水道局等)が発注する工事の適正な施工の確保や品質の確保等を図るため、関係する規程・要綱等に基づき、設計審査や工事検査(中間検査、既済部分検査、一部完成、完了検査)を実施する。 設計金額が2,000万円以上の工事から抽出し、設計審査を実施する。 小規模工事(緊急性のある130万円を越えない工事)の適正な運用を図るため、小規模工事審査会において制度の運用状況について審査する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		契約の適正な履行が確保される。				本市が発注する工事の適正な施工の確保や品質の確保等を図るため、関係する規程・要綱等に基づき、設計審査や工事検査(中間検査、既済部分検査、一部完成、完了検査)を実施する。				
指標設定	指標説明	工事成績評定点の平均 【算出式:工事成績評定点の合計/検査数】				検査に適合した割合 【算出式:検査適合件数/検査数×100】				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)								
		実績								
	達成度	99%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	3.70
再任用	2.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	39,181	39,416	38,974		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	39,181	39,416	38,974		
	物件費計	60	66	59	72	81.9%
歳出計		39,241	39,482	39,033		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		60	66	59	72	

5. 総括的分析

総括的分析	適正な施工により概ね目標が達成された。
-------	---------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き監督職員の技術力向上に資するよう検査を実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 858

事務事業名称	工事検査課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	工事検査課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	工事検査課に配属された職員。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営、庶務事務を適正に処理する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営、庶務事務を適正に処理することで、庁内及び課内の事務の円滑化が図れる。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	2,357	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	2,357	2,344		
物件費計	0	0	0	1	0.0%	
歳出計	2,393	2,357	2,344			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	1		

5. 総括的分析

総括的分析	課内庶務全般について適正に執行した。
-------	--------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、課の運営事務について適正かつ効率的に執行する。